

平成29年度第1回社会教育委員会議会議録

開催日	平成29年6月28日(水)			開会時間	15時00分	
会 場	市役所6階 603会議室			閉会時間	17時00分	
委員の 出欠状況	伊藤 正志	欠	加藤 聡司	出	石原 規子	出
	西 貴美雄	出	川合 香代子	欠	又地 淳	出
	小田原紀慧子	欠	花岡 里恵子	欠		
	鳥飼 八五良	出	伊藤 芳夫	欠		
	○村山 喜三江	出	長田 真希	欠		
	石山 貴宣	欠	◎榎本 俊明	出	◎議長 ○副議長	
傍聴者	なし					
事務局	【教育委員会】 戸部教育長、星野教育部長 【生涯学習課】 横山課長、鈴木課長補佐、磯崎主任 【スポーツ青少年課】 亀井課長					
議 題	(1) 平成28年度事業報告について(資料2) ア 生涯学習事業について イ 文化財保護事業について ウ スポーツ振興事業について エ 青少年担当事業について (2) 平成29年度和光市教育行政の基本目標と重点施策について(資料1) (3) 平成29年度事業計画について(資料2) ア 生涯学習事業について イ 文化財保護事業について ウ スポーツ振興事業について エ 青少年担当事業について (4) 平成29年度社会教育関係団体への補助金交付案について(資料3) (5) 社会教育推進に関する意見交換について テーマ「社会教育委員としての2年間を振り返って」について					

1 開会

2 あいさつ

○戸部教育長

大変蒸し暑い中、平成29年度第1回の和光市社会教育委員会議にお集まりいただき、本当にありがとうございます。

梅雨がなければ雨が降らないということで、昔から農業にとっては恵みの雨と言われております。

社会教育委員会議につきましては、2年間の任期となりますので、このメンバーでの会議は最後となります。

前回の3月の研修会においても、皆様と再確認させていただきましたが、社会教育は、学校教育と異なり、個人の要望や社会の要請にこたえる必要があるなど、市民の学習ニーズに即した幅広い学習内容を持つものです。

社会教育委員の皆様には、今まで社会教育に関するたくさんのご意見やご提案をいただき、さらに市民の方々のお声をお届けいただき、行政と市民の方の間の橋渡しのような役割も担っていただきました。本当にあらためて感謝を申し上げます。

また、今日で最後の会議となりますけれども、次回引き続き、委員をお務めいただく方もいらっしゃいますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、今日の次第にありますように、これからの各議題の審議をよろしくお願いいたします。

○事務局

市民参加条例第12条第4項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開について説明。

3 議題

(1) 平成28年度事業報告について(資料2)

- ア 生涯学習事業について
- イ 文化財保護事業について
- ウ スポーツ振興事業について
- エ 青少年担当事業について

(2) 平成29年度和光市教育行政の基本目標と重点施策について(資料1)

(3) 平成29年度事業計画について(資料2)

- ア 生涯学習事業について
- イ 文化財保護事業について
- ウ スポーツ振興事業について
- エ 青少年担当事業について

○議長(議事進行)

議題1～3については、関連性がありますので、まとめて事務局から説明をお願いします。

○事務局

昨年、又地委員より、前年度の報告をした上で、今年度の目標や重点施策を説明した方が、昨年度からの変化や継続性が理解しやすいとのご指摘がありましたので、まず、資料2の平成28年度事業報告からご説明させていただきます。その後、スポーツ青少年課長並びに生涯学習課長より、資料1の「和光市教育行政の基本理念と重点施策」について説明いたします。

資料2「平成28年度事業報告」に基づき、事業実施に関する写真と合わせて説明。

資料1「平成29年度和光市教育行政の基本目標と重点施策」に基づき説明。

資料2「平成29年度事業計画」に基づき説明。

○加藤委員

平成28年度に行っていた放課後図書室開放事業を廃止し、わこうっこクラブを拡充させるということだが、今年度、北原小学校を選んだ経緯と、第三小学校、第五小学校でわこうっこクラブを始めなかった意図を教えてください。

○事務局

保育クラブの待機児童数、空き教室の関係など、様々な関係で北原小学校を選びました。

○加藤委員

第五小学校は空き教室がないということですが、その辺りも加味されているということですか。

○事務局

北原小学校の方が保育クラブの待機児童数が多いと認識していますので、北原小学校がまず優先ということになりました。やはり、待機児童数もありますが、安全に活動する場所を確保しないといけないので、これから、やり方を工夫しながら全校で行っていく予定です。

○加藤委員

場合によっては、空き教室を確保するためにプレハブを建てるなど考えているのでしょうか。第五小学校は、子どもの数がこの先も増え、教室がどんどん減り、空き教室がないという状況です。

○事務局

今の時点では空き教室がないということですが、工作室や音楽室を放課後の時間帯に活用させていただくことも検討しています。

保育クラブの待機児童解消のための意味も込めておりますので、いろいろ検討して順位付けをし、調整していきたいと思っております。

○又地委員

今回、平成28年度の説明をしていただいてから、平成29年度の説明をしていただき、非常にわかりやすかったです。

(新規や継続事業だけではなく)やめる事業も含めて、「なぜやめるのか」という説明が、よくわかりました。実際、1度始めたことをやめることはとても大変だと思いますが、きちんと理由を持って、「こういう理由でやめます」ということは非常にいい事だと思います。

○石原委員

子ども教室とわこうっこクラブの一体型というものをわかっていない保護者がいるので、学校側と連携して周知をしっかりと欲しいと思います。

○榎本議長

学校開放講座についてですが、学校の先生方はいろいろな特技をもっているのもっと学校に協力をお願いして、先生方の特色・特技を出していただけるといいのかなと思います。

あと和光市民大学についてですが、いつも和光市独自の特色ある良い企画をされていると思いますが、参加者数が少ないので、関係機関をお願いして、参加しやすい日程(土曜日や平日の夕方から夜にかけてなど)にできないものなののでしょうか。

また、文化財パトロールについて、具体的に説明してください。

○事務局

文化財パトロールというのは、遺跡の地域で家の建て直し等がある場合に、現地確認に行きます。また、遺跡の範囲で、届出をせずに工事を行っている場所がないかの確認をしております。他に、新倉ふるさと民家園の様子を見に行っています。

和光市民大学についてですが、何年か前に平日以外の曜日に開催したことがありますが、その際も、参加人数は伸びずに変わりませんでした。しかし、それからまた状況が変わっておりますので、検討したいと思います。検討するにあたりましては、謝礼の関係や、先生の勤務の状況など大きく影響することがありますので、関係機関に丁寧に説明しながら進めていきたいと思います。

○加藤委員

和光市民大学についてですが、来られない人に対して、インターネット配信や、ホームページ掲載等は考えていないのでしょうか。

○事務局

大学の先生や研究者の方をお願いしているので、著作権の関係でインターネット配信は難しいと以前言われたことがあります。

○村山副議長

和光市民大学についてですが、受講者の年齢層はどの程度ですか。

それによって、日程等も違ってくると思います。

○事務局

60代、70代の方が多いです。

○村山委員

「和光市生き生きクラブ」にもご案内をいただければ、参加人数も増えるかと思います。

○又地委員

60代、70代の方の受講者が多かったということですが、実際に希望者としてその年齢層の方が多かったのか、あるいは、平日の昼間という時間帯であったためにこの年齢層が多くなったのかと考えると、後者のような気がします。すべてとは言いませんが、前年に人気があった講座は翌年土日に開催するとか、一般の人ができるだけ受講できるよう考慮して欲しいです。

○榎本委員

前年度の受講者に対して通知を出したら少し違うのではないかと思いますので、検討してください。

○村山委員

参加者のアンケートや意見等をまとめたりはしているのでしょうか。

いろいろなことを踏まえて、対象者を絞るときに参加された方の意見をまとめていけば、次に生かしていけるかなと考えます。

○事務局

アンケートについては毎回行っており、感想や次回の希望のテーマ等を記載していただいております。記載されている内容を元に、関係機関と調整しております。

参加した方以外の方の汲み取りも、しなければいけないと思っております。

公民館、図書館におきましても、利用者の方だけではなく、利用していない方の気持ち、「なぜ利用されないのか。」というところが必要だと思ひまして、今年度におきましては、図書館と公民館に関するアンケートを行っております。

次回のアンケートには、和光市民大学についても記載し、データで認識したいと思っております。それ以外のことは、皆さんがご提案くださったことを元に事務を進めていきたいと思ひます。

○石原委員

和光市民大学の日程が曜日が固定なのは意図的なものですか。

○事務局

今までの受講者の方から、毎週曜日が変わると解りづらいという意見がありましたので、現在は曜日を固定しております。

○石原委員

高齢者を対象に考えて、曜日を限定するのはどうかと思ひます。

アンケートだけでなく、きめ細やかな調査を行って、曜日を設定して欲しいです。

○鳥飼委員

協働事業「合気道教室」とはどういうものですか。

○事務局

スポーツ青少年課と体育協会と一緒に事業行うものです。協働事業の提案制度を活用して、平成27年度から実施している事業です。

○鳥飼委員

募集人数が少なく、回数も少ないのはどうしてですか。

○事務局

講師の方、また会場のスペースの関係で、年2回の定員20名ということで計画しております。

○鳥飼委員

協働事業のメリットはあるんですか。

○事務局

体育協会の加盟団体である合気道連盟の方が主となり教室を行っていますので、合気道というものにかかわっていない市民の方に、護身術を通して合気道というスポーツを知っていただくことで、スポーツ人口の拡充に繋がります。また、運動場の稼働率の向上というところがメリットとなります。

○鳥飼委員

午王山の会では、協働事業ということで1年間を通し40人～50人で市の土地を管理しているが、それとは違うのか。

○事務局

基本的には、市民協働の提案制度の中でそれぞれ協働事業として実施しているものです。体育協会との協働事業につきましては、行政提案型と言いまして、行政側から、運動場を利用して運動場の利用率の向上やスポーツに親しむ方の人口の拡充に協力してもらえる団体を募集しまして、平成27年度から体育協会と一緒に実施している内容となります。

○村山委員

平日の運動場を使って何かできないかと考えた時に、夏休み中に子どもたちを対象にかけっこ教室を行ったり、市内4団体が集まってグランドゴルフを行ったりしています。和光市のスポーツ人口を増やし、運動場の活性化を図るとともに、1人でも多くの方にスポーツを楽しんでいただける場所を提供していきたいと思っています。

(4) 平成29年度社会教育関係団体への補助金交付案について

○事務局

資料3「平成29年度社会教育関係団体への補助金交付案」に基づき説明。

○議長

今説明のあった補助金交付について、皆さんからご質問等あればお願いします。

○各委員

質疑なし

○議長

ないようですので、事務局には各団体へ交付の手続きを進めて頂きたいと思えます。

(5) 社会教育推進に関する意見交換について

【テーマ】「社会教育委員としての2年間を振り返って」について

○事務局

この会議をもって、委員の皆様の2年間の任期中の会議は終了いたします。今回は、社会教育委員としての2年間を振り返っての感想、また今後、社会教育委員に期待することを、お1人ずつ伺いたいと思えます。

○西委員

平成28年度の事業報告について先ほど説明をいただき、ありがとうございました。児童・生徒の健全育成のために、さまざまな事業等、関係課の皆様に考えていただき、またそれを児童・生徒が参加させていただくというところで、大変ありがたい思いでいっぱいでございます。

本日お集まりいただいております委員の皆様にも、それぞれの組織で大変お世話になっていることを改めて感謝申し上げたいと思えます。

今、学校の方では新しく示される学習指導要領の対応が近々の課題となっております。小学校では平成33年度から、中学校では平成34年度から完全実施という形で、市内の小中学校もそれぞれ準備に入っております。

その学習指導要領の中で、「社会に開かれた教育課程」という文言がございます。学校がどういう形で受け止めて、どういう形で計画を立てていくかが問われておりますが、おそらく、今まで以上に学校の外で、児童・生徒に関わっていただき、健全な成長を支えてくださっている組織の皆様とは、連携を密にしていく必要があるのではないかと考えております。

学校としても、準備が整い次第、皆様にご案内させていただければと思えますし、ご協力をいただかなくてはいけないところも多々あると思えます。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

○鳥飼委員

和光市の文化団体連合会では、生涯学習課のご支援をいただき、市民まつりで1年間の成果を発表しております。

埼玉県の花会が解散したことにより、和光市の花会も1度解散しましたが、新しい方が会長となり、新たな和光市花会が結成されました。今後また、学校への大花苗の配布をおこなっていきたいと思っております。

○加藤委員

4年間、社会教育委員としてお世話になりました。

先ほど、又地委員もおっしゃられておりましたが、変える勇気というのはとても大変なことだと思いますけれども、より良い事業を進めて行くためには必ず必要なことだと思います。

より良い和光・住みやすい和光・これから住み続けたい和光・これから住んでみたい和光というものをより進めていただくような形で事業を展開していただき、これからの社会教育委員の方はそれを支えていただくという形でお願い申し上げ、御礼と意見とさせていただきます。ありがとうございました。

○石原委員

2年間があつという間でした。

この一人ひとりの方が、青少年であり、高齢者であり、また中高であり、小学校であり、現場であり、色々な方がこの場に集まって、色々なことを話して、それをまた持って帰り、そして、それを聞いている行政の人がその意見をどのように生かしていこうか、どのように協力していこうかと考えることが、協働ではないかと思います。この会議で、目立ったことはできなかったにしても、私たちが年に2～3回お会いして、皆さんのお話を聞けることがとても勉強になりました。

また、行政とともに、地域の方とともに、より良い和光市、より良い子どもたちを育てていくために頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。

○又地委員

この2年間で一番感じたことは、「勉強させていただいた」ということです。

この会議に参加させていただき、「本当に和光市はいろいろなことをやっているのだな」とわかったことが非常に大きかったです。

和光市は、自然も豊かですし、文化財・史跡もあるし、理化学研究所や埼玉病院など、社会教育に必要ないろいろなリソースがあって、アイディア次第では色々な活用ができるのだろうと感じております。その意味で、社会教育委員の果たす役割というのは、色々あると思いました。

社会教育委員は、計画や研究をすることもできるので、そういう意味で言うと、退職されたような方が本腰を入れてやるのもいいかと思います。そういう形で、市民の方がきちんと調査等を行って、もっと意見を言えれば、面白いと思いました。具体的には、市が行うアンケート結果の分析などにも関わらせていただければ、社会教育委員としてもっと意見が言えるかもしれないと感じました。2年間、どうもありがとうございました。

○村山副議長

長く携わっておりますが、皆さんの色々な組織での活躍を聞いたところで改めて、「社会教育委員って何なんだろう。」と考えたときに、出来れば、この委員の中でひとつにまとまって行動ができれば良かったかなと思いました。

私自身も体育協会の仕事に関しては1年中事業に追われている状態で、皆さんから教えていただいたことが、帰ったときにどのくらい役に立つかなと反省しておりました。出来れば、皆さん、これだけいい意見をお持ちなのだから、何か一つのことに向かって、何か一つのことをやっていくことも、一つの方法かなと思いますし、また、それぞれの分野でそれぞれ活動されることも、社会教育委員としてのひとつの仕事かなと、改めて反省させられました。もう少し真摯に受け止めて、せっかくの意見を生かせる場所を自分なりに見つけていかなければいけないと思いました。

体育協会はたくさん団体を抱えておりますので、ご協力できることもあると思います。ぜひお声掛けいただけたらありがたいと思いますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

○榎本議長

会議と研修には出席させていただきましたが、自分自身、社会教育委員として、「こんな地域にしたい。」という強い思いを常に持って行動しなくてはいけないと思いました。教育・子育て・介護・福祉など、いろいろ課題となっておりますが、そういった課題を地域住民が主体となって取り組んでいけるように、社会教育委員として、地域での役割、これをいかに果たしていくかが必要であると思います。

また、街づくりや地域づくりに繋がる積極的な働きかけをするために、会議とか研修は大事ですけれども、実際に公民館に出向き、地域課題解決のために地域住民と話し合うなどして、地域社会の声を行政に反映させていくことも必要ではないかと思いました。2年間ありがとうございました。

○議長

貴重なご意見、ありがとうございました。

皆さんの貴重なご意見ですので、地域で活動されている社会教育委員の皆様、また、事務局も今後の事業に是非生かしていただきたいと思います。

以上で本日の議題はすべて終わりましたので、議長の席をおりたいと思います。委員の皆様にはご協力いただき、ありがとうございました。

5 閉会

○事務局

本日はお忙しい中、長時間に渡りましてご意見等を頂きまして誠にありがとうございます。今回の会議の中で皆様からいただきましたご意見につきましては、今後の社会教育関連事業の推進に反映できるよう努力して参りたいと思いますので、今後とも社会教育行政にご尽力賜りますようお願いいたします。

また、今回をもって皆様の2年間の任期中の会議は終了いたします。この2年間、さまざまなご意見をいただきまして、ありがとうございました。